



(3)医療関係への関与有無 (SC5)

SC5. あなたは学業及び職業で、医療関係に携わっていますか。

【基数:対象者全員】			(%)			
(N)			携わっている	携わっていない		
全 体	20年	(5000)	11.0	89.0		
	17年	(5000)	10.0	90.0		
職業別	高校生	20年	(626)	7.2	92.8	
		17年	(398)	4.6	95.4	
	大学生・専門学校生	20年	(1484)	14.1	85.9	
		17年	(932)	16.0	84.0	
	会社員	20年	(1545)	10.4	89.6	
		17年	(1596)	11.3	88.7	
	公務員	20年	(85)	17.4	82.6	
		17年	(104)	15.3	84.7	
	自営業	20年	(134)	9.4	90.6	
		17年	(115)	4.9	95.1	
	専業主婦	20年	(423)	5.8	94.2	
		17年	(856)	6.1	93.9	
	その他	20年	(703)	8.6	91.4	
		17年	(999)	6.9	93.1	
	性別	男性	20年	(2556)	8.8	91.2
			17年	(1688)	7.0	93.0
女性		20年	(2444)	13.3	86.7	
		17年	(3312)	11.6	88.4	
地域別	北海道	20年	(210)	14.8	85.2	
		17年	(200)	14.0	86.0	
	東北	20年	(355)	14.9	85.1	
		17年	(350)	9.1	90.9	
	関東甲信越	20年	(1825)	9.1	90.9	
		17年	(1800)	8.6	91.4	
	東海北陸	20年	(780)	11.3	88.7	
		17年	(750)	9.9	90.1	
	近畿	20年	(816)	10.5	89.5	
		17年	(850)	10.1	89.9	
	中国・四国	20年	(431)	12.1	87.9	
		17年	(450)	11.3	88.7	
	九州・沖縄	20年	(583)	13.0	87.0	
		17年	(600)	12.5	87.5	



(1) 献血が病気の治療に役立っていることの認知 (Q1)

<新規質問>

- 『献血』がさまざまな病気の治療に役立っていることを「知っている」と回答した人は65.9%。経験者のほぼ3人に2人が認知している。
- 職業別にみると、他層に比べ公務員の認知率が高いのが目立つ。一方、専業主婦で最も低い。なお、男女間で認知率に差はみられない。



(1) 献血が病気の治療に役立っていることの認知 (Q1)

Q1. 献血は患者さんに対する輸血だけでなく、献血を原料とした血液製剤として、さまざまな病気の治療に役立っていることを知っていますか。

		(N)	知っています (%)	
			知っている	知らない
全体		(5000)	65.9	34.1
職業別	高校生	(181)	64.6	35.4
	大学生・専門学校生	(1453)	69.9	30.1
	会社員	(2152)	64.9	35.1
	公務員	(207)	75.8	24.2
	自営業	(106)	61.3	38.7
	専業主婦	(448)	58.7	41.3
	その他	(453)	61.8	38.2
性別	男性	(2556)	65.5	34.5
	女性	(2444)	66.3	33.7
地域別	北海道	(210)	70.0	30.0
	東北	(355)	68.5	31.5
	関東甲信越	(1825)	62.5	37.5
	東海北陸	(780)	67.7	32.3
	近畿	(816)	68.1	31.9
	中国・四国	(431)	66.4	33.6
	九州・沖縄	(583)	67.6	32.4



(2)若年層の献血協力者の減少傾向認知 (Q2)

<新規質問>

- 近年、『献血』へ協力してくれる10代・20代の若年層が大幅に減少していることを「知っている」という人は55.3%。
- 職業別にみてもそれほど差はないが、公務員の認知率が他層に比べてやや高い。
- 性別では差はなく、地域別では、東北、中国・四国の認知率がやや高くなっている。



(2)若年層の献血協力者の減少傾向認知 (Q2)

Q2. 献血へ協力して下さる若い方の数が、近年大幅に減っています(＊)。知っていましたか。

＊最近5年間で20代の献血者数は161万8千人から113万5千人(30%減)に、10代の献血者数は、56万4千人から32万4千人(43%減)に減少しています。

【基数:対象者全員】		(N)	知っている	知らない
全体		(5000)	55.3	44.7
職業別	高校生	(181)	56.9	43.1
	大学生・専門学校生	(1453)	55.5	44.5
	会社員	(2152)	55.1	44.9
	公務員	(207)	60.4	39.6
	自営業	(106)	55.7	44.3
	専業主婦	(448)	53.1	46.9
	その他	(453)	54.3	45.7
性別	男性	(2556)	54.7	45.3
	女性	(2444)	55.9	44.1
地域別	北海道	(210)	52.9	47.1
	東北	(355)	62.8	37.2
	関東甲信越	(1825)	52.8	47.2
	東海北陸	(780)	56.0	44.0
	近畿	(816)	54.8	45.2
	中国・四国	(431)	61.5	38.5
	九州・沖縄	(583)	54.4	45.6



(1) 献血に関する広報接触媒体 (Q3)

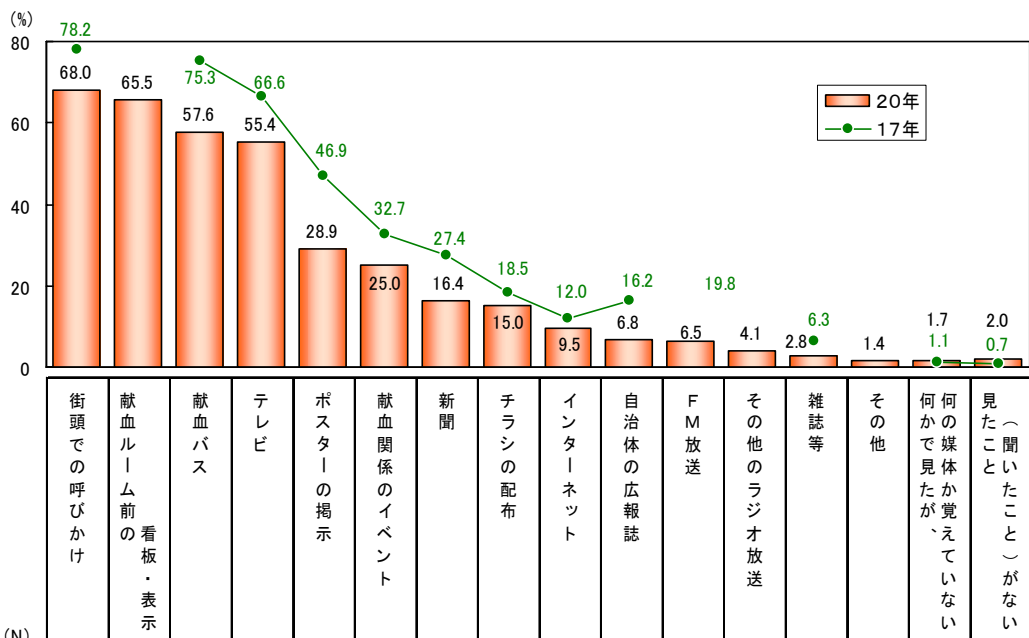
- 『献血』に関して接触したことがある広報媒体をみると、「街頭での呼びかけ」(68.0%)「献血ルーム前の看板・表示」(65.5%)がともに2/3程度を占めており双璧。これに続くのが「献血バス」(57.6%)、「テレビ」(55.4%)で、以上が主要の接触媒体である。
- 職業別にみると、主要の「街頭での呼びかけ」「献血ルーム前の看板・表示」「献血バス」といった現場での接触は専業主婦で高い。逆に、高校生、公務員、自営業で低い。また、高校生、自営業は「献血関係のイベント」も他層に比べてやや低い。
- 性別では、「街頭での呼びかけ」「献血ルーム前の看板・表示」「献血バス」での接触率が男性に比べて女性で高いのが目立つ。
- 地域別では、「街頭の呼びかけ」は北海道、中国・四国でやや低い。一方、関東甲信越は他地域に比べて「テレビ」がやや低い。

- 17年度調査と比較すると、新規回答肢の「献血ルーム前の看板・表示」を除くと、各媒体の接触率は総じて低下している。特に「ポスターの掲示」が20ポイント近く下がったのが目立つ。
- 属性別にみても、職業別・性別・地域別のいずれも各層で傾向は変わらず、ほぼ低下傾向を示している。



(1) 献血に関する広報接触媒体 (Q3)

Q3. 献血に関して、どのような広報媒体を見たこと(聞いたこと)がありますか。(いくつでも)



【基数:対象者全員】

	年次	(N)	接触媒体 (%)																
			街頭での呼びかけ	献血ルーム前の看板・表示	献血バス	テレビ	ポスターの掲示	献血関係のイベント	新聞	チラシの配布	インターネット	自治体の広報誌	F M 放送	その他のラジオ放送	雑誌等	その他	何かの媒体が覚えていない	見たこと(聞いたこと)がない	
全体	20年	(5000)	68.0	65.5	57.6	55.4	28.9	25.0	16.4	15.0	9.5	6.8	6.5	4.1	2.8	1.4	1.7	2.0	
	17年	(5000)	78.2	75.3	66.6	46.9	32.7	27.4	18.5	12.0	16.2	19.8	6.3	1.1	0.7				
職業別	高校生	20年	(181)	49.2	51.4	39.8	56.4	24.3	17.7	13.3	17.1	12.2	3.3	6.1	2.8	2.2	3.9	2.8	3.9
		17年	(87)	69.0	67.8	60.9	39.1	26.4	32.2	23.0	18.4	9.2	20.7	9.2	2.3	1.1			
	大学生・専門学校生	20年	(1453)	69.2	65.2	59.2	56.3	31.4	27.0	18.0	17.8	11.3	4.5	6.1	4.0	3.6	1.9	1.8	2.1
		17年	(652)	80.8	75.8	65.6	49.5	38.5	27.3	23.2	15.8	9.2	20.9	6.6	0.9	0.6			
	会社員	20年	(2152)	68.2	65.7	54.6	55.4	26.9	23.5	15.7	12.8	8.1	6.2	7.3	4.5	2.0	0.7	1.4	2.0
		17年	(2099)	78.3	72.9	64.0	45.4	31.1	26.2	17.9	12.1	14.5	21.4	6.6	1.0	0.7			
	公務員	20年	(207)	62.3	59.4	60.4	52.2	33.3	29.5	17.4	19.8	8.2	19.3	8.2	2.9	2.9	1.4	2.4	1.9
		17年	(203)	77.8	71.9	70.9	52.7	38.9	37.9	26.6	12.3	30.0	25.1	5.4	1.0	-			
	自営業	20年	(106)	62.3	60.4	51.9	40.6	26.4	17.0	17.9	13.2	13.2	7.5	9.4	3.8	6.6	1.9	3.8	2.8
		17年	(143)	63.6	66.4	64.3	43.4	31.5	28.7	15.4	18.2	16.1	25.9	8.4	2.8	0.7			
	専業主婦	20年	(448)	74.3	71.0	63.4	54.9	29.7	26.3	11.8	14.3	4.2	9.6	4.0	2.5	2.2	0.4	1.8	1.8
		17年	(1067)	79.7	79.7	69.4	48.8	34.7	27.7	18.1	7.1	22.4	15.5	5.2	0.9	0.7			
	その他	20年	(453)	68.9	69.5	68.2	57.4	30.0	27.8	19.6	14.3	13.9	10.2	5.7	5.7	3.3	3.1	1.3	1.5
		17年	(749)	77.6	78.9	70.6	46.1	28.4	27.0	14.4	13.5	15.4	18.2	6.0	1.2	0.8			
性別	男性	20年	(2556)	62.9	57.9	50.9	56.7	25.7	22.4	18.3	14.6	10.8	6.0	8.0	5.2	2.8	1.4	2.2	2.4
		17年	(1705)	72.8	68.3	64.5	40.1	29.2	28.2	18.5	13.6	13.4	23.7	5.7	1.7	1.1			
女性	20年	(2444)	73.4	73.4	64.6	54.0	32.2	27.8	14.4	15.4	8.1	7.7	5.0	2.9	2.7	1.5	1.2	1.6	
	17年	(3295)	81.0	78.9	67.7	50.4	34.4	27.0	18.5	11.2	17.7	17.8	6.6	0.8	0.5				
地域別	北海道	20年	(210)	56.2	61.9	56.7	55.2	31.0	21.4	17.1	14.3	9.5	6.2	6.2	8.1	4.8	1.9	1.4	2.4
		17年	(200)	69.0	75.0	63.5	49.0	26.5	30.0	17.0	10.5	15.5	26.5	4.0	2.0	-			
	東北	20年	(355)	65.9	67.0	60.6	65.4	29.0	25.4	24.2	16.9	9.6	12.4	9.6	4.2	3.9	1.1	1.4	0.6
		17年	(350)	73.1	74.9	74.6	49.1	37.7	32.6	17.4	14.3	19.4	26.6	6.6	1.4	0.9			
	関東甲信越	20年	(1825)	70.7	68.9	53.6	46.6	25.0	20.3	12.8	12.5	8.5	4.3	4.9	3.1	2.0	1.5	1.9	2.8
		17年	(1800)	82.6	73.1	62.2	46.0	30.0	21.4	16.6	12.2	12.4	13.9	5.8	1.1	1.0			
	東海北陸	20年	(780)	67.7	60.5	56.8	55.3	29.9	29.2	17.9	14.9	11.2	7.7	7.8	3.7	3.1	1.4	2.1	1.7
		17年	(750)	74.8	71.3	63.3	45.2	34.9	33.9	18.9	11.6	19.2	23.2	6.1	1.3	0.4			
	近畿	20年	(816)	70.3	64.3	62.0	64.3	34.7	23.2	17.9	15.4	9.2	6.7	6.9	4.0	2.9	1.3	1.2	1.6
		17年	(850)	77.9	79.5	76.0	46.9	28.6	28.0	20.0	11.6	16.0	20.7	8.2	0.6	0.5			
中国・四国	20年	(431)	59.6	63.6	60.6	60.6	30.2	31.3	21.6	19.7	11.6	9.3	5.3	5.3	3.0	1.4	2.3	1.9	
	17年	(450)	72.9	79.6	67.6	47.6	39.1	30.9	22.2	11.8	17.1	20.7	5.1	1.1	0.7				
九州・沖縄	20年	(583)	68.8	64.8	61.6	60.7	30.0	33.3	14.6	17.8	8.7	8.6	8.6	5.7	2.7	1.4	1.2	1.5	
	17年	(600)	79.8	78.2	66.2	49.2	37.8	30.3	19.7	12.0	22.0	25.3	6.5	1.2	0.3				

(注) 背景色が薄いのは、17年と比べて5%以上高いもの。背景色が濃いのは、17年と比べて5%以上低いもの。以降も同様。

注: 17年は「献血ルーム前の看板・表示」「その他」の回答肢なし。また、「FM放送」「その他のラジオ放送」は17年の回答肢は「ラジオ」のみ。



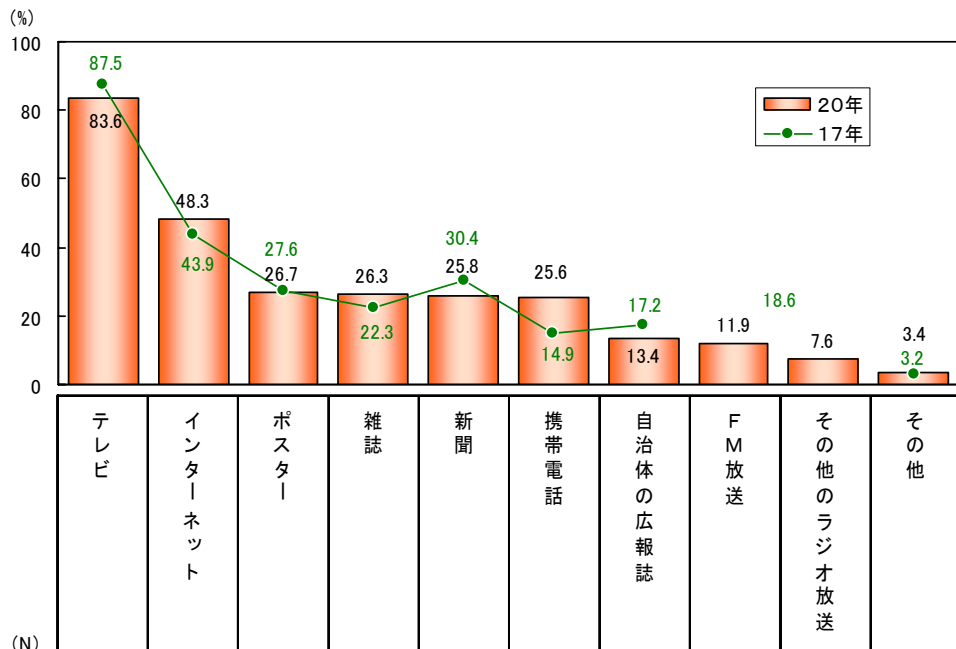
(2) 献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 (Q4)

- 『献血』のキャンペーンを行う際に効果的だと思う媒体としては「テレビ」が83.6%で圧倒的に高い。次いで「インターネット」が48.3%で続く。以下、「ポスター」(26.7%)、「雑誌」(26.3%)、「新聞」(25.8%)、「携帯電話」(25.6%)等が1/4程度で続く。
 - 職業別にみると、各層とも「テレビ」「インターネット」中心は変わらない。その中で高校生は他層より「インターネット」がやや低い。それ以外では「ポスター」を挙げる割合が自営業、専業主婦でやや高い。また、自営業で「FM放送」、専業主婦で「雑誌」、公務員で「自治体の広報誌」が他層に比べてやや高い。
 - 性別では、男性よりも女性の方が「雑誌」を挙げる割合が高い。
 - 地域別では、他地域に比べて東北で「自治体の広報誌」がやや高い。一方、近畿で「インターネット」がやや低い。
-
- 17年度調査と比較すると、「テレビ」「新聞」がやや減少。一方で「インターネット」「携帯電話」を挙げる割合が高まる。特に「携帯電話」は10ポイント強の伸びがみられる。なお、前回の「ラジオ」に関しては、今回「FM放送」「その他のラジオ放送」に回答肢を分割したので参考程度となるが、ほぼ同様の傾向。
 - 属性別にみても、職業別・性別・地域別を通して、総じて各層とも「携帯電話」が効果的だとする傾向が強まっている。「インターネット」も同傾向だが、高校生、自営業ではやや低下した。
 - それ以外では、「テレビ」は高校生、公務員、自営業で、「新聞」も会社員、自営業で、「自治体の広報誌」は自営業、専業主婦で、それぞれ前回よりやや低下した。



(2) 献血キャンペーンに効果的だと思う媒体 (Q4)

Q4. 献血のキャンペーンを行う際の効果的な媒体は何だと思いますか。(いくつでも)



【基数:対象者全員】

		(N)	テレビ	インターネット	ポスター	雑誌	新聞	携帯電話	自治体の広報誌	F M 放送	その他のラジオ放送	その他	
全 体	20年	(5000)	83.6	48.3	26.7	26.3	25.8	25.6	13.4	11.9	7.6	3.4	
	17年	(5000)	87.5	43.9	27.6	22.3	30.4	14.9	17.2	18.6	3.2		
職業別	高校生	20年	(181)	80.1	37.0	27.6	26.0	23.8	29.3	11.6	12.2	7.2	2.2
		17年	(87)	87.4	46.0	26.4	25.3	40.2	27.6	12.6	18.4	5.7	
	大学生・専門学校生	20年	(1453)	82.8	48.5	27.9	26.3	24.8	28.9	11.0	9.9	6.1	3.4
		17年	(652)	87.3	45.4	29.9	26.8	28.8	19.6	9.8	17.2	4.4	
	会社員	20年	(2152)	83.0	48.0	24.3	25.1	25.2	23.1	13.0	12.7	8.2	3.5
		17年	(2099)	86.4	43.6	26.6	20.6	28.4	13.6	15.7	19.7	2.8	
	公務員	20年	(207)	81.6	49.8	24.6	21.3	27.1	22.2	22.2	9.2	5.3	2.9
		17年	(203)	87.7	39.9	24.1	22.7	31.5	17.2	20.2	20.2	2.0	
	自営業	20年	(106)	77.4	43.4	32.1	22.6	23.6	22.6	12.3	17.9	9.4	3.8
		17年	(143)	87.4	49.0	30.8	26.6	35.0	14.7	20.3	30.8	3.5	
	専業主婦	20年	(448)	87.9	46.4	31.9	31.5	27.7	22.8	18.3	13.2	7.6	1.8
		17年	(1067)	89.1	42.3	27.0	21.6	32.3	11.9	25.1	15.0	2.3	
	その他	20年	(453)	88.1	55.8	28.3	30.5	31.1	29.8	15.5	12.8	9.9	5.3
		17年	(749)	88.5	45.7	29.8	22.7	32.3	16.3	15.8	19.1	4.7	
性別	男性	20年	(2556)	81.3	47.8	22.4	20.1	25.5	24.3	11.9	12.6	7.9	3.6
		17年	(1705)	85.6	44.1	23.9	18.7	29.9	15.6	13.1	20.8	3.8	
	女性	20年	(2444)	86.0	48.8	31.2	32.8	26.2	26.9	15.0	11.2	7.3	3.2
		17年	(3295)	88.5	43.8	29.5	24.2	30.7	14.5	19.4	17.4	3.0	
地域別	北海道	20年	(210)	84.3	47.1	27.1	30.5	30.0	25.2	14.3	8.1	6.7	2.4
		17年	(200)	85.5	41.0	24.5	22.0	28.0	12.0	12.0	24.0	2.5	
	東北	20年	(355)	88.7	47.9	29.3	29.3	29.3	25.1	20.6	13.0	8.7	3.9
		17年	(350)	91.1	42.6	31.1	20.3	29.1	16.9	21.7	20.6	3.1	
	関東甲信越	20年	(1825)	82.1	49.7	24.7	27.8	25.0	26.2	10.7	10.2	6.6	3.3
		17年	(1800)	86.8	47.7	27.6	23.2	27.2	16.7	13.4	15.7	4.2	
	東海北陸	20年	(780)	84.7	47.8	25.0	25.5	26.8	23.1	13.7	14.4	8.1	2.2
		17年	(750)	86.4	42.1	26.7	20.8	36.8	13.2	20.3	22.0	2.7	
	近畿	20年	(816)	82.8	42.8	28.1	25.1	23.0	25.5	12.9	12.6	8.2	4.3
		17年	(850)	89.2	43.8	26.7	22.0	29.6	13.5	17.5	18.2	2.6	
中国・四国	20年	(431)	84.7	50.8	30.2	24.4	29.5	26.5	17.4	11.6	7.4	3.0	
	17年	(450)	88.9	35.8	27.1	19.6	31.8	11.3	17.3	16.2	2.4		
九州・沖縄	20年	(583)	83.4	50.9	29.0	22.8	24.9	26.8	14.8	13.7	8.7	4.8	
	17年	(600)	86.2	42.7	29.5	25.2	33.7	15.7	23.5	22.3	2.8		

注: 17年は「その他」の回答肢なし。また、「FM放送」「その他のラジオ放送」は17年の回答肢は「ラジオ」のみ。



(3) 献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 (Q5)

- 献血キャラクター『けんけつちゃん』の認知率は23.8%。経験者のほぼ4人に1人が認知。
- 職業別にみると、高校生の認知率が特に高い。大学生・専門学校生、公務員がこれに続く。一方、専業主婦の認知率が1割強と他層に比べて低い。
- 性別では、女性の認知率が男性を10ポイント上回り、地域別では、東北で最も高い。

- 17年度調査と比較すると、認知率は7.0%→23.8%へと、大幅(17ポイント増)に上昇した。
- 属性別にみても、職業別・性別・地域別の各層とも、前回に比べて認知率がアップしたのは共通。特に、大学生・専門学校生、および女性で20ポイント増と顕著である。今回認知率の最も低かった専業主婦でも9ポイント上昇している。



(3) 献血キャラクター「けんけつちゃん」認知 (Q5)

Q5. 厚生労働省では献血推進のためのキャラクターとして「けんけつちゃん」を作成していますが、知っていますか。

		【基数:対象者全員】		(%)		
		(N)	知っている	知らない		
全 体	20年	(5000)	23.8	76.2		
	17年	(5000)	7.0	93.0		
職業別	高校生	20年	(181)	34.8	65.2	
		17年	(87)	19.5	80.5	
	大学生・専門学校生	20年	(1453)	31.8	68.2	
		17年	(652)	8.1	91.9	
	会社員	20年	(2152)	20.0	80.0	
		17年	(2099)	7.1	92.9	
	公務員	20年	(207)	29.5	70.5	
		17年	(203)	11.3	88.7	
	自営業	20年	(106)	22.6	77.4	
		17年	(143)	7.0	93.0	
	専業主婦	20年	(448)	12.7	87.3	
		17年	(1067)	3.7	96.3	
	その他	20年	(453)	19.9	80.1	
		17年	(749)	7.7	92.3	
	性別	男性	20年	(2556)	18.9	81.1
			17年	(1705)	6.6	93.4
		女性	20年	(2444)	28.8	71.2
			17年	(3295)	7.2	92.8
地域別	北海道	20年	(210)	16.7	83.3	
		17年	(200)	7.5	92.5	
	東北	20年	(355)	31.0	69.0	
		17年	(350)	13.1	86.9	
	関東甲信越	20年	(1825)	26.0	74.0	
		17年	(1800)	6.1	93.9	
	東海北陸	20年	(780)	22.9	77.1	
		17年	(750)	7.3	92.7	
	近畿	20年	(816)	20.8	79.2	
		17年	(850)	7.3	92.7	
	中国・四国	20年	(431)	22.3	77.7	
		17年	(450)	5.6	94.4	
	九州・沖縄	20年	(583)	21.3	78.7	
		17年	(600)	6.2	93.8	



(4) 献血キャンペーン認知 (Q6)

- 献血に関するキャンペーンのことを「知っている」と回答した人は36.5%。
- 職業別にみると、他層に比べて公務員の認知率がやや高い。また、女性の認知率が男性に比べて11ポイント上回っている。地域別では、東北でやや高く、北海道で最も低い。

- 17年度調査と比較すると、認知率は46.4%→36.5%へと、10ポイント減となっている。
- 属性別にみても、各層とも認知率は低下傾向となっている。その中で、特に公務員で落ち込みが目立つ。また、地域別では、北海道で認知率の低下が顕著である。



(4) 献血キャンペーン認知 (Q6)

Q6. 献血に関するキャンペーンを知っていますか。

(毎年7月:愛の血液助け合い運動 毎年1~2月:「はたちの献血」キャンペーン)

【基数:対象者全員】

			(N)	知っている	知らない	(%)	
全 体	20年	(5000)		36.5	63.5		
	17年	(5000)		46.4	53.6		
職業別	高校生	20年	(181)	33.1	66.9		
		17年	(87)	42.5	57.5		
	大学生・専門学校生	20年	(1453)	36.6	63.4		
		17年	(652)	47.7	52.3		
	会社員	20年	(2152)	36.8	63.2		
		17年	(2099)	45.7	54.3		
	公務員	20年	(207)	44.9	55.1		
		17年	(203)	63.5	36.5		
	自営業	20年	(106)	32.1	67.9		
		17年	(143)	40.6	59.4		
	専業主婦	20年	(448)	35.7	64.3		
		17年	(1067)	46.4	53.6		
	その他	20年	(453)	34.0	66.0		
		17年	(749)	44.5	55.5		
	性別	男性	20年	(2556)	30.9	69.1	
			17年	(1705)	39.6	60.4	
女性		20年	(2444)	42.3	57.7		
		17年	(3295)	50.0	50.0		
地域別	北海道	20年	(210)	27.1	72.9		
		17年	(200)	43.0	57.0		
	東北	20年	(355)	43.7	56.3		
		17年	(350)	55.1	44.9		
	関東甲信越	20年	(1825)	32.8	67.2		
		17年	(1800)	40.9	59.1		
	東海北陸	20年	(780)	37.7	62.3		
		17年	(750)	46.0	54.0		
	近畿	20年	(816)	38.4	61.6		
		17年	(850)	49.4	50.6		
	中国・四国	20年	(431)	38.3	61.7		
		17年	(450)	50.0	50.0		
	九州・沖縄	20年	(583)	41.3	58.7		
		17年	(600)	52.8	47.2		



(5) 「HOP STEP JUMP」を配布された記憶 (Q7)

- 高校3年生を対象に、『HOP STEP JUMP』という普及啓発資材が配布されていることを認知している人は14.7%。授業で使用した経験がある人が5.7%。
- 職業別にみると、(現役)高校生の認知率は3割強と高い。大学生・専門学校生が2割強で続く。一方、専業主婦の認知率が他層に比べて低い。

- 17年度調査と比較すると、認知率は10.6%→14.7%へと、4ポイント上昇している。
- 職業別にみると、認知率の突出した高校生は前回と比べてやや後退。それ以外の層は、大きな変化はみられない。なお、地域別では北海道の認知率がやや高まっている。



(5) 「HOP STEP JUMP」を配布された記憶 (Q7)

Q7. 平成2年から全国の高校3年生を対象に、献血に関する普及啓発資材「HOP STEP JUMP」を配布していますが、学校で配られた記憶はありますか。

【基数:対象者全員】 (N)			(%)				認知 〈計〉
			保健体育の授業で 使用した	他の授業で使用した	配布されただけ	知らない	
全 体	20年 (5000)		4.2	9.0	85.3		14.7
	17年 (5000)		7.2	1.5	89.4		10.6
高校生	20年 (181)		8.3	21.0	68.5		31.5
	17年 (87)		4.6	29.9	65.5		34.5
大学生・専門学校生	20年 (1453)		5.8	13.6	79.1		20.9
	17年 (652)		4.9	12.6	81.4		18.6
会社員	20年 (2152)		3.6	6.2	88.3		11.7
	17年 (2099)		5.5	1.9	91.1		8.9
公務員	20年 (207)		3.9	7.7	87.0		13.0
	17年 (203)		4.4	11.3	85.2		14.8
自営業	20年 (106)		2.8	4.7	6.6	85.8	14.2
	17年 (143)		4.9	7.0	86.7		13.3
専業主婦	20年 (448)		4.7		93.8		6.3
	17年 (1067)		6.0	0.2	91.9		8.1
その他	20年 (453)		3.3	7.7	88.5		11.5
	17年 (749)		5.3	0.4	92.4		7.6
性別	男性	20年 (2556)	4.9	9.3	83.8		16.2
	17年 (1705)		3.7	7.9	87.3		12.7
女性	20年 (2444)		3.4	8.7	86.9		13.1
	17年 (3295)		6.9	1.0	90.5		9.5
地域別	北海道	20年 (210)	6.2	11.0	81.9		18.1
		17年 (200)	9.0	1.0	88.5		11.5
	東北	20年 (355)	3.9	11.8	82.0		18.0
		17年 (350)	5.4	8.0	86.0		14.0
	関東甲信越	20年 (1825)	4.7	7.9	85.1		14.9
		17年 (1800)	7.6	2.3	89.3		10.7
	東海北陸	20年 (780)	3.5	11.2	84.2		15.8
		17年 (750)	3.1	7.9	88.9		11.1
	近畿	20年 (816)	4.4	9.2	85.5		14.5
		17年 (850)	3.2	6.0	89.3		10.7
	中国・四国	20年 (431)	3.2	8.8	86.5		13.5
		17年 (450)	6.0	1.4	91.1		8.9
	九州・沖縄	20年 (583)	3.1	6.9	89.5		10.5
		17年 (600)	6.8	0.5	91.5		8.5



(1) 献血では感染症に感染しないことの認知 (Q8)

- 『献血』でエイズ、肝炎といった感染症に感染しないことは、経験者の約8割(78.4%)が認知している。
- 認知率は、職業別・性別・地域別のどの属性で見ても、あまり違いはみられない。

- 17年度調査と比較すると、認知率は79.9%→78.4%と、ほぼ横ばい傾向。
- 職業別にみると、公務員、自営業の認知率が前回に比べてやや低下している。地域別では、北海道でやや低下。



(1) 献血では感染症に感染しないことの認知 (Q8)

Q8. 献血でエイズ、肝炎その他の感染症に感染することはありませんが、そのことを知っていますか。

【基数:対象者全員】			(%)			
(N)			知っている	知らない		
全 体	20年	(5000)	78.4	21.6		
	17年	(5000)	79.9	20.1		
職業別	高校生	20年	(181)	76.2	23.8	
		17年	(87)	78.2	21.8	
	大学生・専門学校生	20年	(1453)	80.6	19.4	
		17年	(652)	80.5	19.5	
	会社員	20年	(2152)	76.4	23.6	
		17年	(2099)	80.2	19.8	
	公務員	20年	(207)	81.6	18.4	
		17年	(203)	88.2	11.8	
	自営業	20年	(106)	74.5	25.5	
		17年	(143)	83.9	16.1	
	専業主婦	20年	(448)	81.5	18.5	
		17年	(1067)	79.4	20.6	
	その他	20年	(453)	78.4	21.6	
		17年	(749)	76.5	23.5	
	性別	男性	20年	(2556)	76.2	23.8
			17年	(1705)	77.2	22.8
		女性	20年	(2444)	80.8	19.2
			17年	(3295)	81.3	18.7
地域別	北海道	20年	(210)	79.0	21.0	
		17年	(200)	84.5	15.5	
	東北	20年	(355)	81.4	18.6	
		17年	(350)	83.4	16.6	
	関東甲信越	20年	(1825)	76.3	23.7	
		17年	(1800)	79.1	20.9	
	東海北陸	20年	(780)	79.4	20.6	
		17年	(750)	79.6	20.4	
	近畿	20年	(816)	78.7	21.3	
		17年	(850)	78.8	21.2	
	中国・四国	20年	(431)	81.7	18.3	
		17年	(450)	79.1	20.9	
	九州・沖縄	20年	(583)	79.1	20.9	
		17年	(600)	81.2	18.8	



(2) 血液製剤の海外血液依存の認知 (Q9)

- 《血液製剤は未だ海外の血液に依存している》ということを認知している人は25.3%と、経験者の4人に1人の割合。
- 職業別にみると、高校生の認知率が最も高く、唯一3割を超えている。また、性別・地域別による差はあまりみられない。

- 17年度調査と比較すると、認知率は30.8%→25.3%へ、約6ポイント低下した。
- 職業別では、各層とも前回を下回っているが、中でも会社員、公務員、自営業で10ポイント近く低下した。また、性別で男性、地域別で東北、東海北陸、中国・四国、九州・沖縄等でやや低下。



(2) 血液製剤の海外血液依存の認知 (Q9)

Q9. 血液製剤(＊)は未だ海外の血液に依存していることを知っていますか。

＊重症熱傷に用いるアルブミン製剤では、国内自給率は未だ60%台である。

【基数:対象者全員】			(%)	
(N)			知っている	知らない
全 体	20年	(5000)	25.3	74.7
	17年	(5000)	30.8	69.2
高 校 生	20年	(181)	32.0	68.0
	17年	(87)	34.5	65.5
大学生・専門学校生	20年	(1453)	26.9	73.1
	17年	(652)	32.7	67.3
会 社 員	20年	(2152)	24.7	75.3
	17年	(2099)	32.9	67.1
職 業 別	20年	(207)	28.0	72.0
	17年	(203)	37.4	62.6
自 営 業	20年	(106)	29.2	70.8
	17年	(143)	37.8	62.2
専 業 主 婦	20年	(448)	20.8	79.2
	17年	(1067)	23.3	76.7
そ の 他	20年	(453)	22.3	77.7
	17年	(749)	30.4	69.6
性 別	20年	(2556)	27.0	73.0
	17年	(1705)	35.6	64.4
女 性	20年	(2444)	23.5	76.5
	17年	(3295)	28.3	71.7
地 域 別	20年	(210)	26.2	73.8
	17年	(200)	25.5	74.5
北 海 道	20年	(355)	26.8	73.2
	17年	(350)	34.9	65.1
東 北	20年	(1825)	25.0	75.0
	17年	(1800)	27.9	72.1
関 東 甲 信 越	20年	(780)	25.5	74.5
	17年	(750)	33.9	66.1
東 海 北 陸	20年	(816)	27.3	72.7
	17年	(850)	32.8	67.2
近 畿	20年	(431)	22.3	77.7
	17年	(450)	31.6	68.4
中 国 ・ 四 国	20年	(583)	23.8	76.2
	17年	(600)	31.5	68.5
九 州 ・ 沖 縄	20年	(600)	31.5	68.5
	17年	(600)	31.5	68.5



(1) ルームの雰囲気について (Q10-1)

- 『献血ルーム』に対するイメージについて、4つの項目で質問した。
- まず《ルームの雰囲気》という点では、「明るい」が34.7%を占め、「暗い」の7.7%を大きく上回っており好評。ただし、全体的には「ふつう」の評価が過半数を占める。
- 職業別で見ると、「明るい」と評価するのは公務員で最も高く、逆に高校生で他層よりも低い。
- 性別では、「明るい」と評価する割合は女性が男性を10ポイント上回っている。
- 地域別では、北海道で「明るい」とする割合が最も高い。

- 17年度調査と比較すると、前回「わからない」の回答肢がないため、一概には比較できないが、全体では「明るい」と評価する割合は42.1%→34.7%と、7ポイント減となっている。
- 職業別にみると、各層とも「明るい」イメージが低下しているが、特に大学生・専門学校生の低下が顕著である。高校生も10ポイント低下した。
- 性別・地域別では、いずれの層も「明るい」がやや低下しており、あまり違いはみられない。



(1) ルームの雰囲気について (Q10-1)

Q10. 献血ルームのイメージを教えてください。 (1) ルームの雰囲気

【基数:対象者全員】			(%)					
(N)			明るい	ふつう	暗い	わからない		
全 体	20年	(5000)	34.7	51.7	7.7	6.0		
	17年	(5000)	42.1	49.6		8.3		
職業別	高校生	20年	(181)	29.3	53.6	9.4	7.7	
		17年	(87)	39.1	51.7		9.2	
	大学生・専門学校生	20年	(1453)	37.8	50.0	7.0	5.3	
		17年	(652)	51.1	41.3		7.7	
	会社員	20年	(2152)	32.1	54.0	7.8	6.1	
		17年	(2099)	40.3	50.6		9.1	
	公務員	20年	(207)	42.0	47.3	4.8	5.8	
		17年	(203)	48.3	47.3		4.4	
	自営業	20年	(106)	34.0	53.8	7.5	4.7	
		17年	(143)	42.0	50.3		7.7	
	専業主婦	20年	(448)	35.3	50.9	8.7	5.1	
		17年	(1067)	38.8	52.1		9.1	
	その他	20年	(453)	35.3	47.2	9.1	8.4	
		17年	(749)	43.0	50.6		6.4	
	性別	男性	20年	(2556)	29.9	55.2	8.7	6.2
			17年	(1705)	38.2	52.7		9.1
女性		20年	(2444)	39.7	47.9	6.6	5.8	
		17年	(3295)	44.2	48.0		7.9	
地域別	北海道	20年	(210)	43.3	41.0	8.6	7.1	
		17年	(200)	50.5	42.0		7.5	
	東北	20年	(355)	37.7	49.3	3.9	9.0	
		17年	(350)	47.1	48.6		4.3	
	関東甲信越	20年	(1825)	35.0	52.4	7.8	4.8	
		17年	(1800)	44.1	47.4		8.6	
	東北北陸	20年	(780)	32.7	54.6	6.9	5.8	
		17年	(750)	39.6	51.6		8.8	
	近畿	20年	(816)	29.9	53.8	9.9	6.4	
		17年	(850)	34.1	53.6		12.2	
	中国・四国	20年	(431)	34.6	52.4	6.5	6.5	
		17年	(450)	39.8	53.6		6.7	
九州・沖縄	20年	(583)	38.3	47.2	7.7	6.9		
	17年	(600)	46.8	48.0		5.2		

注:17年は「わからない」の回答肢なし。



(2) ルームの広さについて (Q10-2)

- 《ルームの広さ》という点では、「広い」の20.4%に対して、「狭い」が24.5%と、狭いイメージの方が若干上回っている。ただし、全体的には「ふつう」と評価する人がほぼ半数を占めている。
- 職業別で見ると、「広い」と評価するのは公務員で最も高い。一方、自営業で「狭い」とする割合が他層より高く、「広い」を10ポイント上回っているのが目立つ。
- 性別では、男性で「狭い」のスコアが「広い」を10ポイント上回り、女性に比べその差が大きい。
- 地域別では、中国・四国で「ふつう」が目立ち、他地域よりも「広い」とする割合がやや低い。

- 17年度調査と比較すると、前回「わからない」の回答肢がないため、一概には比較できないが、全体では「広い」「狭い」とも概ね変動はなく、同様の傾向を示している。
- 職業別にみると、公務員、自営業で「狭い」イメージがやや増えている。それ以外は、「ふつう」が総じてやや低下している。(このスコア低下は、今回の「わからない」にシフトした模様)
- 地域別では、中国・四国で「広い」がやや低下している。



(2) ルームの広さについて (Q10-2)

Q10. 献血ルームのイメージを教えてください。 (2) ルームの広さについて

【基数:対象者全員】			(%)				
		(N)	広い	ふつう	狭い	わからない	
全 体	20年	(5000)	20.4	48.1	24.5	7.0	
	17年	(5000)	20.9	54.6	24.5		
高 校 生	20年	(181)	19.3	45.3	27.1	8.3	
	17年	(87)	19.5	51.7	28.7		
大学生・専門学校生	20年	(1453)	20.5	48.5	25.1	5.9	
	17年	(652)	24.7	52.8	22.5		
会 社 員	20年	(2152)	18.9	49.4	24.3	7.3	
	17年	(2099)	19.9	55.2	24.9		
公 務 員	20年	(207)	26.6	41.1	26.6	5.8	
	17年	(203)	22.7	58.1	19.2		
自 営 業	20年	(106)	21.7	41.5	32.1	4.7	
	17年	(143)	17.5	59.4	23.1		
専業主婦	20年	(448)	20.1	48.7	24.1	7.1	
	17年	(1067)	20.7	52.3	27.0		
その他	20年	(453)	24.7	46.1	19.6	9.5	
	17年	(749)	21.4	55.9	22.7		
性 別	男 性	20年	(2556)	17.6	48.0	27.7	6.7
		17年	(1705)	17.4	55.8	26.8	
	女 性	20年	(2444)	23.3	48.2	21.1	7.4
		17年	(3295)	22.8	53.9	23.3	
地 域 別	北 海 道	20年	(210)	23.8	45.2	21.4	9.5
		17年	(200)	24.0	53.5	22.5	
	東 北	20年	(355)	22.8	43.4	24.5	9.3
		17年	(350)	20.0	59.1	20.9	
	関 東 甲 信 越	20年	(1825)	21.2	48.8	24.4	5.6
		17年	(1800)	22.2	53.9	23.9	
	東 海 北 陸	20年	(780)	19.4	50.6	22.8	7.2
		17年	(750)	20.5	55.5	24.0	
	近 畿	20年	(816)	19.0	45.1	28.6	7.4
		17年	(850)	17.4	52.0	30.6	
	中 国 ・ 四 国	20年	(431)	14.8	53.6	23.0	8.6
		17年	(450)	20.7	53.6	25.8	
	九 州 ・ 沖 縄	20年	(583)	22.5	46.8	23.3	7.4
		17年	(600)	22.5	57.5	20.0	

注:17年は「わからない」の回答肢なし。